

十八中だより



豊中市立第十八中学校 2023年4月21日
DAI-JUHACHI JUNIOR HIGH SCHOOL 第1号
豊中市立第十八中学校 校長 山本 昌幸

38期生 82名が入学しました！

4月7日（金）に入学式が行われ、38期生82名が第十八中学校に入学しました。緊張の中にも入学の喜びがあふれる姿が、初々しかったです。

新入生代表者の「決意の言葉」では、「部活動や勉強など不安な事がありますが、仲間とともに様々な経験をし、困難を乗り越えていきたい」という意気込みを語っていました。みなさんのことを私たち教職員、先輩は全力で応援します。

在校生代表者の「歓迎の言葉」では、「学年が一つ二つ違うというだけであり、飛びぬけた才能があるわけではありませんが、中学校では学力や人間性、個性を伸ばしています。安心してください。困ったことがあれば先生や上級生に相談してください」と力強く語っていました。頼もしいです。

吹奏楽部と太鼓部の歓迎演奏も入学式に花を添え、温かい雰囲気の入學式となりました。準備や本番に関わってくれたみなさん、ありがとうございました。



今年度4月に着任いたしました校長の山本(ヤマモト)昌幸(マサユキ)と申します。

第九中学校、第十一中学校、東豊中小学校、高槻市立冠中学校、箕面市立第六中学校で勤務しました。好きな言葉は「知行合一」です。「考えたことは実行する」を信念に教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

【1学期の中間テストを廃止、単元テストや小テストを実施】

2021年度から実施されている学習指導要領では、①「生きる力」を育成すること。②知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること。を重点課題としています。また、以前より1学期中間テストについて、テストまでの期間が短いため、テスト範囲がとても狭くなり、他の定期テストと同じ重みでの実施に課題がありました。1学期の中間テストを廃止し、代わりに紙やタブレットでの単元テストや小テストを実施します。また、合わせて発表やレポート等の授業中の取り組みなど日々の授業の中で生徒の学習状況を把握し評価いたします。

【教育目標】

人間尊重の精神をもとに ◎ 人を思う "優しい心を"
◎ 命を守る "健やかな体を"
◎ 未来に生きる "大きな望みを" 育む

【重点】

「信頼」と「規律」のある十八中づくり
相手の気持ちに耳を傾け、自分の気持ちをことばで伝えられる力を育成する

保護者・地域のみなさまへ

「人間尊重の精神」を基盤とした、元気で温かな学校をめざして、生徒、教職員が一緒になって、そして地域、保護者のみなさまのご支援、ご協力をいただきながら取り組んでいきたいと思っております。

生徒のみなさまへ

教育目標を実現するために、生徒には日々の生活で大切にしてほしいことが2つあります。一つ目は「自分を生かす」ということです。皆さんは、学級や学年、学校の一員です。また、家族や地域社会の一員でもあります。そこで、様々な立場や役割があります。それぞれの立場で与えられた役割を一生懸命に果たしてください。与えられたことだけでなく、自分には何ができるのか、自分は何をしなければならないかを、自分で考え自ら行動すること、自分の持てる力を精一杯発揮することが、自分を生かすということになるでしょう。

二つ目は「人を生かす」ということです。人を生かすとは、人の良いところを見つけて認め合うことです。優しい心と思いやりの心で人と関わり、互いの良さを認め高め合えるような仲間づくりをしてください。

「自分を生かす」「人を生かす」ことを心に留めて、日々の生活を送ることで本校の目指す「心と体を大切に、大きな望みを持つ人」に成長していくことを願っています。

私たち教職員は、一人ひとりが自己実現し、夢を追いかけることができるよう、全力で情熱を注いでまいります。学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら、互いに協力してお子さまの成長を温かく見守り支えることが、何より大切なことだと考えております。新しい学校生活がスタートしました。皆さん、共に学び、共に成長していきましょう。